

今後の図書館のあり方について

下田市教育委員会 生涯学習課

01. 図書館の現状について

【下田市立図書館】



住 所 : 静岡県下田市4丁目7-16

敷地面積 : 537.10㎡

構 造 : 鉄筋コンクリート造 3階

竣工年 : 1976年 (昭和51年)

延床面積 : 762.88㎡

(1階 : 348.08㎡ 2階 : 340.60㎡ 3階 : 65.22㎡)

駐 車 場 : 4台

蔵 書 数 : 約10万冊

開 館 日 : 火～土曜日 9時～17時 日曜日 9時～16時

(祝日、12/28から1/3除く)

02. これまでの経緯

【令和4年度の活動】

1) 下田市立図書館整備計画基礎調査業務

現図書館は、耐震性が劣り老朽化も著しいことから市民等とのワークショップを行い、利便性・敷地状況・まちづくり・将来性等の観点から建設候補地の比較・検討を行った。

2) ワークショップの開催（3回）

「未来に向けた下田のわくわく図書館プロジェクト」として、小中高生・一般の参加者でワークショップを開催し、新しい図書館のあり方を検討した。

3) ワークショップのまとめ

① 図書館とまちの新しい関係

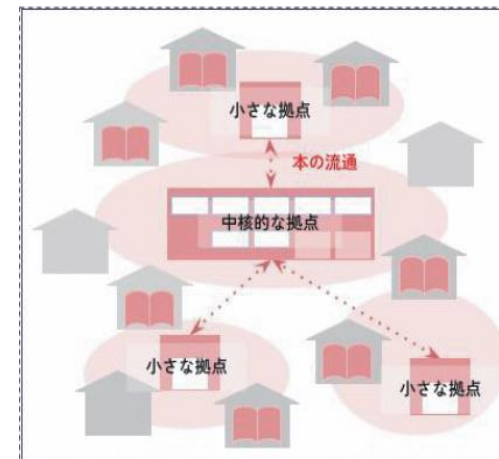
まちなかに図書館機能を分散し、身近に本があることを日常化させ、まち全体が図書館になる仕組みを作る。

② 下田市の文化活動をつなぐという視点

従来の図書館機能と下田市の文化活動を行っている公民館的機能をかけ合わせ、図書館にあらたな機能を持たせる。

③ 市民がつくる図書館という視点

市民自ら活動の担い手となり、利用しながら図書館を作っていく。



02. これまでの経緯

4) 図書館の候補地

①選定

令和4年度下田市立図書館整備計画基礎調査業務において、候補地を、現図書館、下田駅周辺、文化会館、旧稲生沢中学校の4つの候補地を選定し、利便性・交通アクセス、敷地の状況、まちづくり・将来性・発展性、防災上の安全性等の項目について比較検討を行った。



②評価と課題

下田駅周辺または文化会館での評価が高いが、いずれも建設までは長い時間を要すること、新庁舎建設をはじめ多くの公共施設整備の課題を抱えているなか、図書館単体で整備方針を決定することは、市全体の合理性にそぐわないことから、比較的長期間使用できる図書館をローコストで整備することが望ましい。



③候補地の再選定

下田市内の既存施設、現図書館・中央公民館・本郷公民館跡地・フードストアあおき駐車場跡地の4つの候補地を選定し、上記と同様の比較検討を行った結果、中央公民館の評価が高く、図書館機能との融合に最適であると判断されている。

02. これまでの経緯

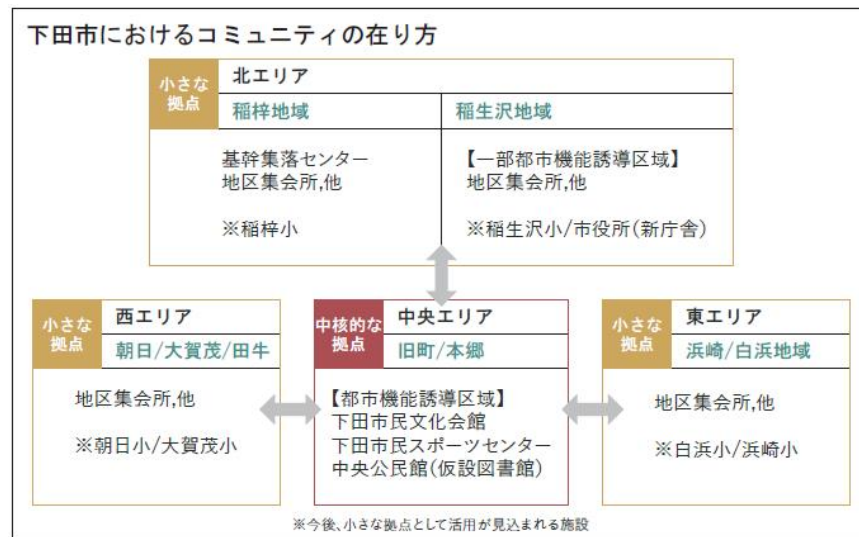
【令和5年度の活動】

1) 生涯学習施設整備基本構想策定業務

図書館再整備の検討にあたり、生涯学習施設の現状と課題を整理し、持続可能な施設運営の実現のため生涯学習施設整備基本構想を策定する。

2) 下田市における生涯学習施設の在り方

コミュニティ規模に合わせた生涯学習施設の考え方として、大人数向けで複数機能を持った「中核的な拠点」と少人数向けの「小さな拠点」という考え方で整理している。「中核的な拠点」は、文化会館、スポーツセンター、図書館などを立地適正化計画の都市機能誘導区域内（旧町、本郷、河内）に整備し、「小さな拠点」は、既存の各地区集会所、各小学校体育館などを活用する。



03. 中央公民館の現状について

【下田市立中央公民館】



住 所：静岡県下田市4丁目6-16

敷地面積：1,453.71㎡

構 造：鉄筋コンクリート造 2階

竣工年：1968年（昭和43年）

※昭和63年3月土地建物を静岡県より購入、

平成元年・2年建物改修及び耐震補強工事実施

延床面積：1,117.89㎡（1階：555.20㎡ 2階：562.69㎡）

駐 車 場：23台

開 館 日：月～日曜日 9時～21時（12/28～1/3除く）

04. 図書館と公民館の融合の可能性

【中央公民館への移転】

- ・教育委員会の新庁舎移転に伴い、中央公民館1階に図書館を移転し、生涯学習機能との融合を図る。

浸水区域外の既存施設

非浸水域の既存施設で稀少書庫等の蔵書スペースを補う

図書館の蔵書約10万冊のうち、開架図書約5万冊を移転



中央公民館

2F

生涯学習機能



1F

図書館機能



- ・生涯学習機能と図書館機能が融合し、**まちの中核的な拠点**となる。

蔵書スペース



2F

生涯学習機能



1F

図書館機能



04. 図書館と公民館の融合の可能性

学びと地域活動を両立させた新しい活用モデル

1) 活用モデル・例

従来の図書館機能



本を読む・借りる



1~2人で

カフェを楽しんだり



2~4人で

映画鑑賞したり



本の読み聞かせを
聴いたり



4~10人で

複数人で会議
したり

イベントに参加したり
・運営してみたり



10~人で

2) メリットとデメリット

【メリット】

- ・新たな交流や賑わいが創出される。
- ・子どもから高齢者まで多世代の新たな交流が生まれる。
- ・機能が集約化され、事業の効率化が期待される。
- ・一体的な施設管理による財政負担の軽減が図られる。
- ・新築に比べて建設費を抑えられる。

【デメリット】

- ・複合施設になると今までより縮小される。
- ・浸水区域外への蔵書スペースの確保。
- ・公民館統廃合計画等との整合性。

3) 今後のスケジュールについて

令和7年度には「図書館併設複合社会教育施設利活用方針策定業務」により、有識者や地域住民等とシンポジウムやワークショップを行い、今後の図書館のあり方について意見を伺う。